

環境報告書

2011



九州大学病院別府病院

1. 目 次

1.	目次	2
2.	トップメッセージ	3
3.	別府病院概要	4・5
4.	環境安全教育	6
5.	市民公開講座	7
6.	環境月間	8
7.	環境活動	9
8.	エネルギー	10・11・12
9.	環境安全	13



2. トップメッセージ

はじめに、先の東日本大震災により尊い命を亡くされた方々に謹んで追悼の意を表しますとともに、甚大な被害を受けられたすべての方々に対し心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い原子力発電所の事故の終息・沈静化と被災地の復興を祈念致します。

このたび平成23年4月1日より九州大学病院別府先進医療センターから九州大学病院別府病院へと病院の名称を変更いたしました。診療内容は従来の内科・外科・放射線科に加えて、新たに整形外科（脊椎外科）を開設いたしました。患者さまには恵まれた環境を活かしながら優しく“あたたかい医療”をめざして職員一同頑張りたいと思います。

当院は九州大学温泉治療学研究所の診療部門として昭和6年に発足してから平成23年で80周年を迎えました。その間、温泉治療学研究所附属病院、生体防御医学研究所附属病院、九州大学病院別府先進医療センターとして皆様には大変お世話になりました。今後は病院の整備と医療技術の向上に努め、従来からの先端的医療に加えてより地域医療に密着した医療を提供したいと思えます。

さて、地球的規模で深刻な問題となっております地球温暖化解決のため、温室効果ガス削減を目指しています。今や全世界での環境保全は、人類全体で取り組む喫緊の課題であり、本院も率先して取り組む使命をおびていると考えています。

そのため、省エネルギーの推進、省資源化の推進、医療廃棄物及び一般廃棄物の適正管理及びゴミの分別・減量化等々に努めるとともに、全職員挙げて環境に対する問題意識を持ち、研究・診療等の諸活動の中でも環境問題に配慮した活動を心がけ、地域、ひいては地球に貢献してまいります。



九州大学病院別府病院長
牧野直樹

3. 九州大学病院別府病院概要

名称	九州大学病院別府病院
理念	患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します
基本方針	◇地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進 ◇プライマリ・ケア診療の充実 ◇全人的医療が可能な医療人の養成 ◇専門医療の高度化を目指した医学研究の推進 ◇国際化の推進 ◇生活の質が向上できる医療の提供
所在地	〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546 TEL 0977-27-1600 (代表) FAX 0977-27-1605 URL http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/
病床数	一般140床

病院機能評価認定

九州大学病院別府病院は、第三者評価認定として財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.5.0 を平成19年10月に受審し、平成20年2月18日付で認定されました。



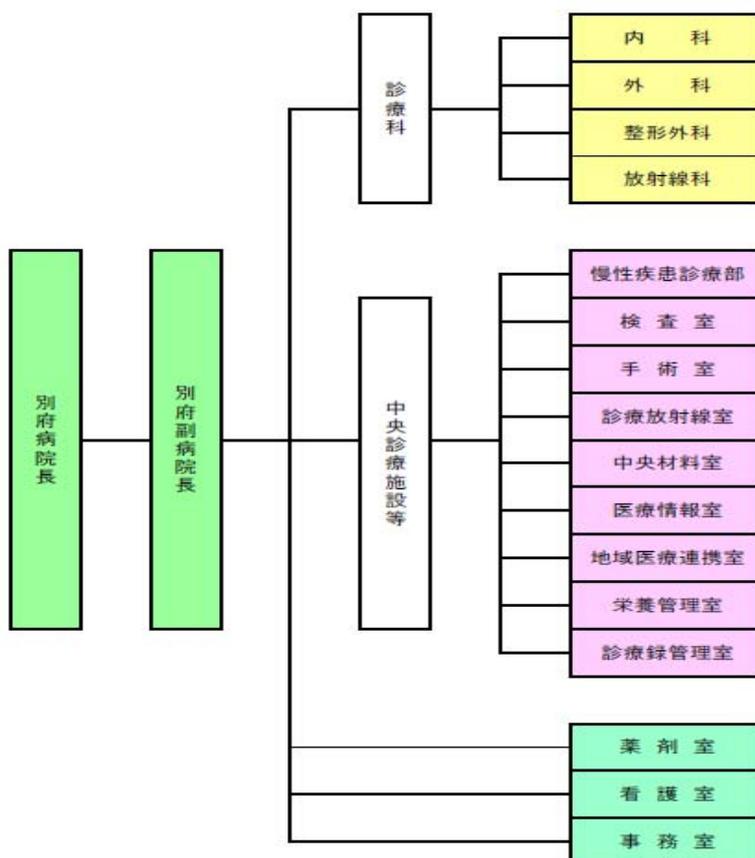
沿革

設立	1931年(昭和6年)	10月	温泉治療学研究所附属病院
改組・統合	1982年(昭和57年)	4月	生体防御医学研究所附属病院
統合	2003年(平成15年)	10月	九州大学病院別府先進医療センター
統合	2011年(平成23年)	4月	九州大学病院別府病院

別府病院の組織図

平成23年4月1日現在

1. 組織



構成員（平成23年4月現在）

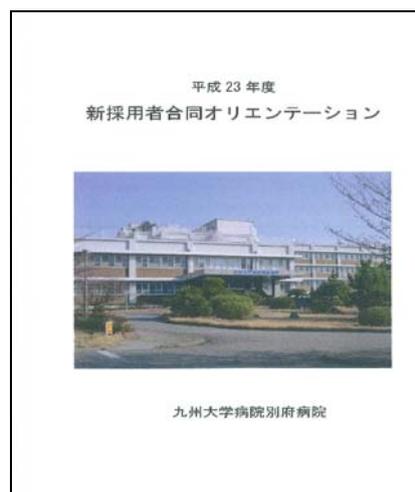
教員	18人
医員・研修医	9人
医療技術職員	19人
薬剤職員	5人
看護職員	55人
事務職員	17人
合計	123人

4. 環境安全教育

平成23年4月に、転任者及び新規採用者に「新採用者合同オリエンテーション」等に基づき、医師・看護師・職員が講師となり次のような安全教育を実施しました。

【講義内容】

1. 病院概要
2. 病院の組織と運営について
3. 就業規則について
4. 個人情報保護について
5. 医療情報とセキュリティ
6. 防災について
7. 診療情報管理について
8. 診療報酬の請求について
9. 薬剤とオーダーの運用について
10. 心肺蘇生法について
11. 医療安全について
12. 栄養管理について
13. 感染防止について
14. 職場の労働安全衛生について



5. 市民公開講座

九州大学病院・生医研さくら会による本講座は、平成14年から年1回ペースで行い、平成22年度にて8回目となりました。平成22年度については4月17日（土曜日）に行いました、運営方法や講演内容等も試行錯誤を重ねながら受講者を増やしています。

これからも見直しを図りながら継続して開催し、より多くの別府市民に本講座を受講していただくことにより、市民の皆様の病気や健康に対する意識の向上に微力ながらも貢献できるよう運営していく所存です。



九州大学病院・生医研さくら会
市民公開講座

講演1: 糖尿病といわれる前に
& 糖尿病と言われたら
免疫・血液・代謝内科 生山祥一郎

講演2: 生活習慣病と大腸がん
—日本の真実—
腫瘍外科 三森功士

日時: 平成22年度4月17日(土)
午後2時~4時
会場: 九州大学病院別府先進医療センター
視聴覚ホール
参加自由 (申込みの必要はありません)

会場では健康補助食品などの展示も
行います。

問合せ先:
生医研さくら会事務局 (栄養管理室・今村)
電話: 0977-27-1618

共催: 九州大学病院、生医研さくら会
別府DM会、武田薬品工業(株)



市民公開講座の公演中

6. 環 境 月 間

別府病院ではエネルギー使用量の削減の一環として電気量の削減を目的に、夏期の期間において病院内等の節電パトロールを行っています。

期 間：平成23年7月～9月

場 所：病院本館、理療棟、研究棟

回 数：月1回（抜き打ち）

人 数：事務職員で構成し、3班にて実施

実施方法：診療及び研究を除く部屋毎に「節電チェックシート」にて節電の取り組み状況を確認する

節電チェックシート () 回目
 棟名称 () () 階 室名称 ()
 調査日：H23年 () 月 () 日 () 時 () 分から () 時 () 分

チェック項目	YES	NO
🌀 エアコン		
①室温を冷房は28℃を目安に設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②不要時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③フィルターを定期的に清掃している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
💡 照明器具		
④昼休みの一斉消灯を実施している。（事務部のみ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤必要な部分だけ点灯している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
💻 パソコン		
⑥省エネモードに設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦帰宅時のシャットダウンを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
🖨️ フリッター		
⑨省エネモードに設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩帰宅時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
🌡️ 冷蔵庫		
⑫温度を季節によって適切に設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
🔌 その他機器		
⑬不要時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑭待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
🏃 勤務		
⑮早期退勤日を促進している。（事務部のみ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※該当しないチェック項目は、YESにチェックしてください。

YESの合計

YES17項目以上	YES11～16項目	YES5～10項目	YES0～4項目
事務上	非常時	対応中	未対応

7. 環境活動

(1) 職員による清掃活動

病院内では、環境美化を目的として勤務時間以降に不定期ではありますが、職員（医師・技師・看護師・事務職員）による清掃活動（草取り）など、外来診療棟前ロータリーから正門周辺草取り、構内道路の落ち葉やゴミ拾いなど、環境美化のための活動を行い、梅雨前には建物の屋上戸井廻りに溜まっているゴミ等の清掃を行っています。



構内清掃



構内清掃



建物屋上清掃



建物屋上清掃

8. エネルギー

別府病院でも、エネルギー管理を行うために下記の表を作成してエネルギーの管理資料としています。

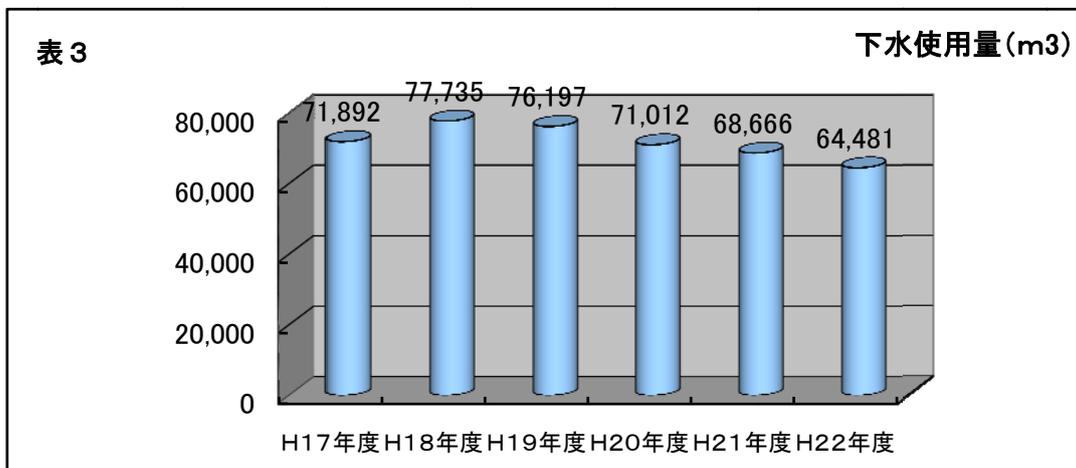
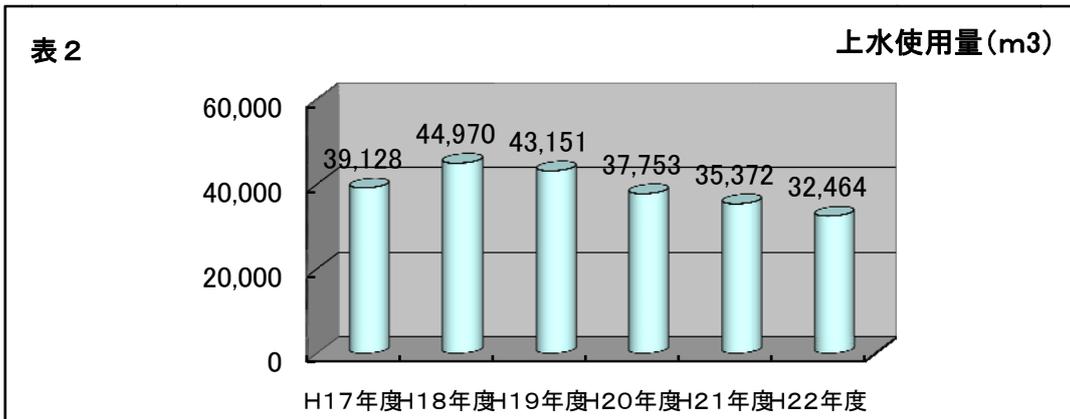
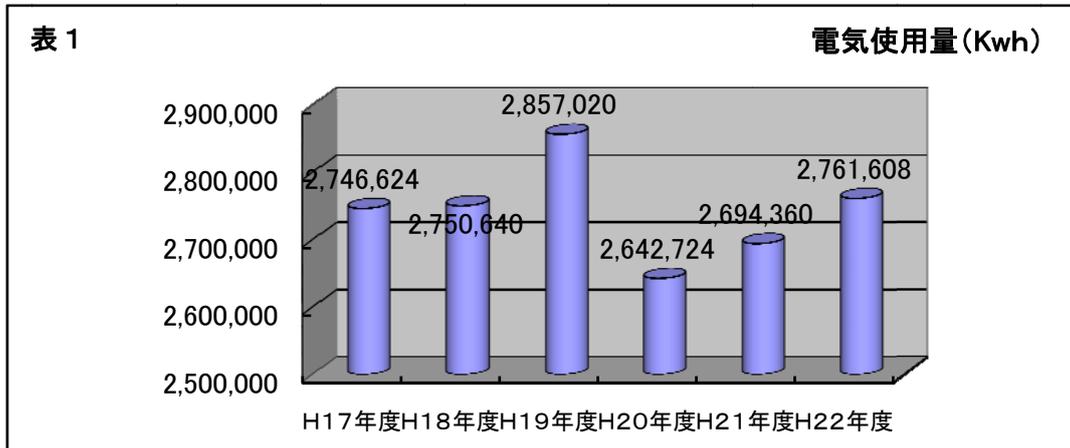


表 4

ガス使用量(m3)

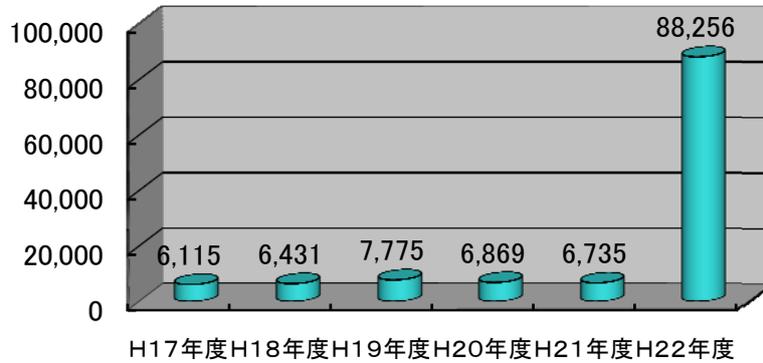


表 5

重油使用量(L)

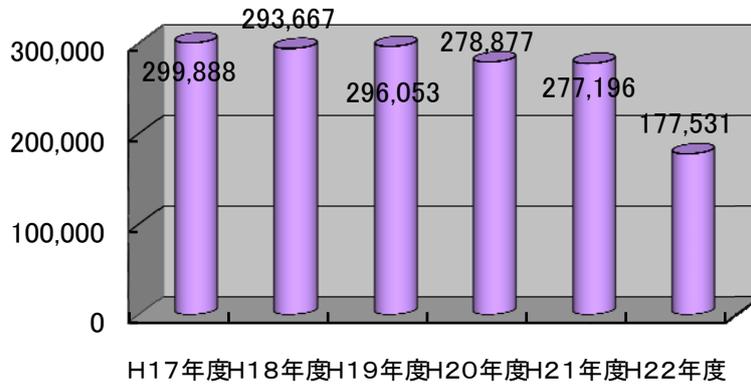
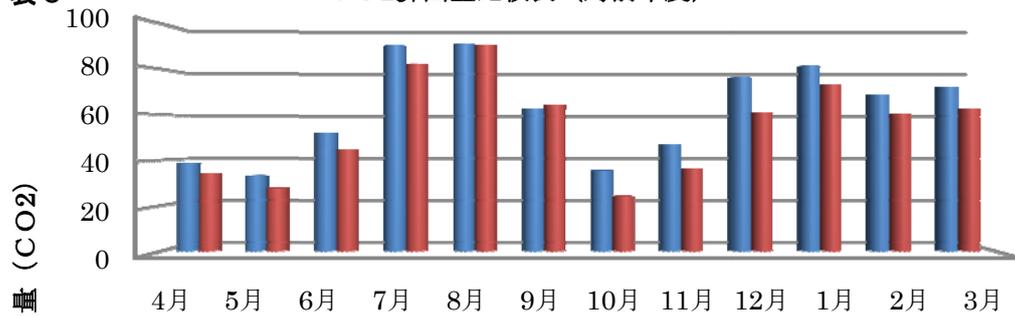


表 6

CO2排出量比較表 (対前年度)



CO2排出量 (CO2)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■ 2009	38.4	33.0	52.0	90.8	91.4	63.0	35.4	47.2	76.7	81.8	69.1	72.4
■ 2010	34.0	27.6	44.6	82.7	91.1	64.6	23.9	36.3	61.0	73.5	60.7	62.8

平成22年度のエネルギー使用の評価と平成23年度の目標

表4で表しているとおり都市ガスの使用量増加の要因は、重油炊き炉筒煙管式ボイラー（4 t）×2基を重油炊き貫流ボイラー（1 t）×2基、ガス炊き貫流ボイラー（1 t）×2基に更新したための増加です。

都市ガス(天然ガス)は重油に比べ温暖化の要因であるCO₂の排出量が少ないため、環境への負荷の低減を行えます。

また、平成22年度では病院内主要な機械室の蒸気ヘッドーにバルブジャケットの取付を行うことにより、省エネルギー及びCO₂の削減を行っています。

平成23年度においても、引き続き効率の良いエネルギー使用を行い、前年度比1%のCO₂削減を目指していきます。

バルブジャケット取付前



バルブジャケット取付後



9. 環 境 安 全

別府病院では、医療廃棄物（感染性・非感染性）及び一般廃棄物（可燃・不燃）を分別して集荷しています。医療用廃棄物については、その取り扱いについて注意する必要があります。医療で使用した針はさらに個別の専用容器に入れて廃棄しています。



専用の分別容器に入れて廃棄を行っている。左から手指消毒剤容器、非感染性廃棄物、感染性廃棄物×2、可燃



医療で使用した廃棄する針を入れる専用容器



廃棄物置場においても分別して集荷している
左から感染性医療廃棄物、非感染性医療廃棄物、不燃物、可燃物